

初春の雑木林



小春日和の
一日のんびり
と近くの雑木林
を散策しました。



武蔵野の真ん中にあるこの林はクヌギ、コナラ、ミズキ、ヤマザクラ、エゴノキなどの落葉広葉樹におおわれています。ガサガサ、サクサクと、木枯らしによって落葉した、赤・黄・茶・緑が折り重なり、広がっているじゅうたんの上を、ゆっくりと一歩ずつ、かみしめるように歩きました。

シジュウカラのさえずりに歩みをゆるめ、立ち止まると、頭上の梢でコゲラがしきりに餌をさがして「コツ、コツ、コツ... ギー」と、忙しそうに上下しています。

その愛らしいしぐさは、時のたつのを忘れさせます。思わず落葉の上に腰をおろし見上げました。

冬の雑木林は、やがて来る春を待つ、眠りの世界なのでしょいか。

樹木の枝の先にはふくらんだ冬芽。そして落葉の下では冬越しの昆虫や野草の芽が、静かにやわらかい日の光を浴びていました。

わかるかな？

今月の写真クイズ



写真は、今月の広報さやまの中に掲載してある写真の一部を拡大したものです。何ページの何の写真でしょうか？

解答をお寄せいただいた正解者の中から、抽選で5名の方に記念品をさしあげます。官製はがきで、広報課宛お送りください。
締め切り:1月31日(当日消印有効)



【12月10日号の写真クイズの答え】
17ページの写真ニュース、刀身彫刻の写真でした。

表紙の写真

今年は甲申です。お天気の良い日、こども動物園のサル山には多くの方が訪れます。いつも人気者のサルたち、今年はさらに出番が増えそうです。さて、こども動物園では、今年の干支にちなんでさまざまな事業を計画しています。サルたちの愛嬌のある仕種が、心休まるひとときを与えてくれるかもしれません。干支展やサルのワンポイントガイドなど、休みの日にご家族で足を運んでみてはいかがでしょうか。



埼玉県生態系保護協会狭山支部
高橋昇さん(中新田)

ルリビタキ

(スズメ目ツグミ科)

全長14cm。背中のるり色と脇腹のだいたい色のコントラストが鮮やかな鳥です。高山帯の針葉樹林で繁殖し、冬になると山のふもとや丘陵など暖かいところに下りて生活し、一羽ずつ縄張りを持っています。同じ仲間のジョウビタキよりも、林の中など暗い環境を好みますが、とまり場で尾を振る点などはジョウビタキの行動によく似ています。餌は主に昆虫やクモで、枝から舞い降りて捕食する姿が多く見られます。ふだんは「ヒッ、ヒッ」とか「グワッ、グワッ」と鳴き、繁殖期になると雄は「チッチーチロチー」というような、明るく調子のよい声でさえずり続けます。市内では、智光山公園や入曽、堀兼の雑木林などでよく目にする、愛くるしい野鳥です。